

## 編 集 後 記

「明日の臨床」第23巻、2号をようやくお届けすることができた。発刊がこのように遅れていることは、編集委員の一人として読者の皆様に毎度ながらお詫びを申し上げます。

さて、本号では5編が掲載されているが、2011年3月11日に未曾有の巨大地震とそれに伴い人災的要因の多い原子力発電所のメルトダウンによる深刻な大量の放射線漏れといった事故、わが国の歴史始まって以来、世界規模の大災害に見舞われたことである。そのような状況下でタイムリーに放射線と医療に関する論文が2編あり、まさに保険医協会ならではの医学雑誌である。イラクのアサード医師は2005年にも本誌に劣化ウランによるイラクの状況をご報告頂き、かねてから続編をお願いしていたところようやく原稿が届けられた。内容はお読み頂くようにイラク・バスラにおける悪性新生物の発生状況を隣国のデータを交えて解説して頂いた。その背景要因の考察がかなり遠慮された記載となっている印象は否めないが、今回の原発事故の今後の影響に大きなインパクト与えるものであり、それを補完するように浅野先生には原発と医療と題して明快に解説して頂いた。

他の3編はいずれも内科臨床研究会での講演をおまとめ頂いたものであり、一般診療レベルにおける関節リウマチ診療と基幹病院における特化したリウマチ専門外来にけるリウマチ診療の立場でおまとめ頂いたものである。最近の関節リウマチの治療にメトトレキサート (MTX) をアンカー・ドラッグとし、生物学的製剤の導入による素晴らしい治療実態が早期診断、精確・確実な病勢評価法を用いて達成できることが理解できる論文である。さらに、患者数の増加でアルツハイマー患者診療はプライマリケア医にとっても日常的な疾患となり、治療薬の進歩を背景として、認知症診療を明快に解説して頂いた。

いずれの5編も発刊が遅れていることとは無関係にタイムリーな濃い内容の論文でまとめることができたと編集委員の一人として自負している。 [編集委員 松本 美富士]

---

### 編 集 委 員 (50音順 \*印委員長)

池 山 淳	粥 川 裕 平	杉 藤 徹 志*
高 橋 英 世	松 本 美 富 士	山 本 武 司

---

明日の臨床

Vol. 23 No. 2

2011年12月25日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎ (052) 832-1345

制 作 (株)東海共同印刷

---

頒価 1,000円・発行部数 7,000部